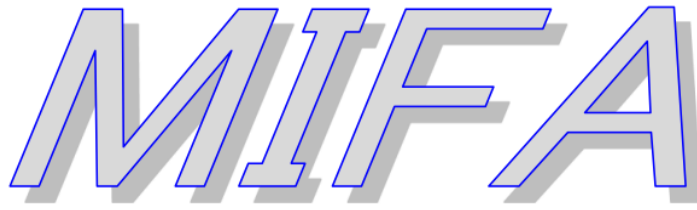


発行日：2024年1月28日

## 目次

創立 30 周年を祝う ～ 記念式典 ～	1
新たな 10 年に向けスタート	1
講演「多文化共生社会における日本語ボランティア	2
懇親会 立食パーティーで話が弾む	2
学習者・支援者らによるスピーチ	3
記念誌・クリアファイルを制作	3
「ボランティア養成講座」終わる	4
合格おめでとうございます！ ～ JLPT 合格者 ～	4
バンドンにいながら世界旅行 ～ 私の故郷 ～	5
一緒に活動する仲間 募集！	6
作文を募集しています	6
状況表	7
役員会便り	7
2月～4月の予定	8



## 創立 30 周年を祝う

昨年の 10 月 28 日（土）の午後、MIFA 創立 30 周年記念式典が開催され、74 名が出席し 30 周年の節目を祝いました。式典は、町田市文化交流センター5階「けやき東」で第 1 部として会長挨拶、来賓祝辞に加えて講演やスピーチなどが行われた後、同フロアの「けやき西」に移動し、第 2 部の懇親会が行われました。



右側の写真は、上から黄川田会長、来賓の高橋様、来賓の林川様

### 新たな 10 年に向けスタート

第 1 部の会場となった「けやき東」は、現会員、学習者、元会員のほか、お招きした来賓の方々でほとんどの席が開始前に埋りました。13 時 30 分を過ぎたところで第一部の司会者、早田さん（語学部）が開始を告げ式典が始まりました。まずは黄川田会長が壇上に立ち挨拶を行いました。その後、来賓の町田市文化・国際交流財団の理事長・高橋豊様と東京日本語ボランティアネットワーク（TNVN）の代表・林川玲子様のお二人からご祝辞をいただきました。

黄川田会長は関係者へ感謝の意を伝えるとともに「まだコロナ前の水準には回復していない。創立 30 周年のこの年をコロナ前の活動を取り戻し、新たな 10 年に向けてスタートする年としたい」「町田市の外国人の数は増加しており、MIFA の役割はますます重要になっている」と述べました。

高橋様は「ここ 5 年間、町田市の人口は横ばい状態だが、外国人登録者数は 3000 人増えている。社会が変わると課題も出てくる。町田国際交流センターと MIFA が協力しながら問題解決に向け前進していきたい」と話されました。林川様は「TNVN は都内の日本語ボランティアの団体が集まって創ったネットワーク。TNVN 創立時のメンバーである MIFA は TNVN の生みの親のひとり。これからも頼りにしている」と MIFA への期待を述べられました。

## 創立 30 周年を祝う

### 講演「多文化共生社会における日本語ボランティア」

記念式典の第 1 部では多文化共生リソースセンター東海の代表理事・土井佳彦先生による「多文化共生社会における地域日本語ボランティア」と題した講演が行われました。

先生ご自身も日本語ボランティアを始めて 22 年。始めた当初は日本語を上手に外国人に教えられればよいと考えていたとのことですが、活動を続けていく中で「単に日本語が上手になればよいという訳ではない。それ以外のところも考えないといけない」と考えが大きく変わったそうです。変わるきっかけとなった体験やエピソードについて話をされました。「多文化共生」という言葉もボランティア活動の中で出会ったとのこと。

「日本の文化や習慣に合わせてください、と一方的に外国人に変化を求めるのではなく、日本人も外国人の文化や習慣を理解・尊重し、お互い様という気持ちで日本人も変化し、お互いを尊重しながら豊かな生活を送ること」と多文化共生について説明されました。「日本ではこうですよ」というだけではなく、「あなたの国ではどうしていますか？ 私にも教えてください」とお互いに学び合う気持ちを持つこと。ここから始めてほしいと話されました。

日本は人口減少、労働力不足の解決に外国人の力を借りないとやっていけなくなり、2018 年に国は方針を大きく変えました。数多くある国の中から日本を選んで来てくれた外国人を大切に、多様な文化を尊重した活力ある共生社会を実現するために日本語教育が必要と言い始めたのです。日本には多くの外国人が入って来るようになりました。地域の日本語教育をどうしていくかということが今後の大きな課題になるとのことです。

日本語教育については 2 つの違いを意識して対応してほしい、と先生からアドバイスがありました。一つは「ニーズ (needs) とウォンツ (wants) の違い」、もう一つは「目的と手段の違い」。日本で生活する上で客観的に見て、その学習者には何が必要なのか？ (ニーズ) その学習者はどうなるとハッピーなのか？ (目的) を考えながら支援してほしい、と話されました。またボランティアの語源はラテン語のボランティア、「自由意志」という意味。「日本語ボランティアをやってみたいという意志を持っている外国の方もいる。そういった方にも声がかかるような形でボランティア側も多様性を持ってやっていくことが増えるといいと思う」と言われました。

質疑応答での質問にも丁寧に回答をいただきました。講演は、今後の活動のヒントになるような話を伺うことができ、有意義な時間になりました。



土井先生は、東海地域を中心に全国各地で自治体や国際交流協会、NPO、NGO と共同で多文化共生の街づくりを推進されています。

### 懇親会 立食パーティーで話が弾む

記念式典の第 2 部・懇親会が「けやき西」で開催されました。6 つの丸テーブルにサンドイッチやオードブル、飲み物が用意され、前会長・大和田さんの乾杯の発声で懇親会が始まりました。それぞれのテーブルで話に花が咲くなか、抽選会も行われました。進行役の樋村さん（友好部）が当たった抽選番号を読み上げると、景品が当たった方から歓声が上がりました。時間が押して懇親会の時間が短くなってしまいましたが、16 時半過ぎ、笑顔のなか記念式典を閉会しました。



前会長の大和田さん（右）と進行役の樋村さん（左）

## 学習者・支援者らによるスピーチ

記念式典の第1部では学習者、支援者ら4名によるスピーチも行われました。

ちょう くにん  
趙 國煥さん（元学習者 韓国）

2008年から8年半にわたってMIFAで学習された元学習者です。今回、スピーチを快くお引き受けいただき、「MIFAが教えてくれた大切な道」というテーマでスピーチをしました。「MIFAの先生たちがカッコ良く見えて、自分もいつかボランティア活動をやってみたいと思った。なかなか機会がなかったが、ゲームを開発する日本の若い人たちを支援するボランティアを最近始めた。楽しくてやりがいがある」と話しました。



上野 マリアレヴィーさん（学習者 フィリピン）

2008年にMIFAで学習を開始。2013年にフィリピンに帰国しましたが、お子さんが小学校1年生になるタイミングで再来日。再びMIFAで学習を開始しました。「MIFAのよいところは、マンツーマンの指導を受けられること、親子クラスがあること」「MIFAでいろいろな人と交流しながら、自分の生き甲斐ややりがいを見つけてみたい」「いつか私たち学習者もMIFAの活動に積極的に参加し、貢献できたらいいと思う」と話しました。



小島 隆志さん（支援者）

2018年にMIFAに入会。現在、土曜クラスでの学習支援のほか、語学部の委員として支援者と学習者の組み合わせ状況をまとめるデータ担当の役務を引き受けていただいています。「MIFAでのボランティア活動を5年経過して思うこと」というテーマでスピーチをしました。「MIFAの学習支援活動はとにかく楽しい」とのこと。その一方で「支援者間同士やり取りが結構あるのかと思っていたが、ほとんどないように感じる」とも。「もっと色々な国の学習者に対して支援し自分も多くの刺激を受けたい」と話しました。



井手 久子さん（支援者）

MIFA創立当時のことをご存知の数少ない創立メンバーの一人。MIFA創立当時のエピソードについてスピーチを行いました。創立者の塩田さんが日本語教師養成講座を開催しても受講者の多くがMIFAに入会せずに苦労したこと、3回目の日本語教師養成講座でまとまった人数がMIFAに入会されたこと、MIFAの日本語教室の一回目は井手さんのご自宅で行われたこと、学習者集めや教室の確保に苦労したことなどを話しました。「様々なことがありましたが、MIFAで色々な体験ができたことに感謝したい」と言われました。



## 記念誌・クリアファイルを制作

MIFA創立30周年を記念して冊子「そのときMIFAは」およびクリアファイルを制作しました。「そのときMIFAは」は会員へ配布し、クリアファイルは会員、学習者、養成講座受講者に配布しました。「そのときMIFAは」は、2013～2023年のMIFAの活動を年表化して載せたほか、新型コロナウイルスに対してMIFAが如何に対応してきたか記録に残そうと役員やコーディネータが分担して書いたものも掲載しました。



## 「ボランティア養成講座」終わる

2023 年度の MIFA 主催「日本語学習支援ボランティア養成講座」が、昨年 9 月 16 日より 11 月 25 日まで土曜日計 8 回開催されました。コロナ感染流行中は開催できませんでしたが、3 年ぶりの講座募集にたくさんの方からの応募があり、27 名の受講生を迎えて講座は始まりました。日程としては、10 月 28 日に開催された「MIFA 創立 30 周年記念式典」を挟むこととなり、また先生のご都合とも合わせ、3 ヶ月の長丁場の講座となりました。



最終日には黄川田会長が受講者一人ひとりに修了証をお渡ししました。

今回も山形美保子先生を講師にお迎えし、「日本語ボランティアとは？」というボランティアの原点

のお話から、「外国人への日本語の教え方」、「外国人の対応のしかた」などの講義をしていただきました。また、先生も長年杉並区の地域日本語ボランティアに携わり現場を熟知されている経験から、現場でもすぐに役立つ実践的で具体的なお話を伺うこともできました。

また、MIFA 支援者から語学支援の体験談を聞いたあとの質疑応答や、学習者が加わっての語学支援の疑似体験をするなどの参加型のプログラムは、受講者の方々には大変好評でした。

講座期間中、各教室に出向いて実際に支援の現場を見学していただいたことも、MIFA の語学支援活動をより一層理解していただくことに繋がったと思います。

11 月 25 日最終日は、会長挨拶、語学部・友好部・広報部の紹介、語学支援活動の説明をもって講座は終了し、22 名（男性：5 名・女性：17 名）が修了されました。入会されすぐに支援活動を始められる方は 14 名（男性：4 名・女性：10 名）です。12 月より順次支援を始めていただくことになっています。教室の中で新メンバーの方々を見かけられたら、どうぞお声かけをしたりして温かく迎えていただきたいと思います。新会員の方々には、MIFA の仲間として、語学支援以外の様々な MIFA の活動の場にも積極的に参加していただけたいと思います。

皆さんと MIFA でのボランティア活動を楽しんでいきましょう！

（語学部 早田紀子）

ごうかく  
合格おめでとうございます！

さくねん がつ にほんごのうりよくしけん (JLPT) 以下、がくしゅうしゃ がごうかく  
昨年7月の日本語能力試験 (JLPT) に以下の学習者が合格しました。

きゅう 級	な 名	まえ 前	くに 国	クラス
N1	ジャン	シャオライ	ちゅうごく 中国	かよう 火曜

## わたしの故郷

### バンドンにしながら世界旅行

プトゥリ サニ ダマヤンティ (インドネシア 月曜クラス)

私の故郷バンドンは、インドネシアの首都ジャカルタから東南へ約 200 キロ離れた、人口約 260 万人の、西ジャワ州の主要都市です。標高が高いので、熱帯地域では珍しく涼しい街です。観光と言えば歴史巡りツアーが定番ですが、一風変わったアトラクションでも注目されています。それは、バンドンにしながら、まるで世界を旅しているような気分を味わえる観光スポットがたくさんあるのです。

その第一が「グレート・アジア・アフリカ」です。その名の通り、アジアやアフリカ各国の多様な文化を紹介しています。ここを訪れると、エリアごとにその国の雰囲気、文化、伝統料理が楽しめます。例えば、日本エリアでは着物、インドエリアではサリーなど、民族衣装をレンタルすることもできます。

バンドンのダゴ地域にある「チウンブルイット・ピークエリア」も有名です。ここでは、自由の女神、エッフェル塔、スフィンクス、コロッセオなど、世界の名所巡りを疑似体験できます。

もうひとつ、バンドン観光で外せない場所が「水上マーケット」です。人口の湖に屋台舟が並び、様々な食べ物を売っています。また、この湖の周囲には「京都区」と呼ばれる一角があり、日本の伝統建築（風）の建物がずらっと軒を並べています。日本文化に憧れる観光客で賑わい、絶好の写真スポットになっています。

このように、インドネシア人にとって、外国の文化を学び、その国の雰囲気を感じることはとても刺激的な体験です。特に外国人と直接触れ合うことは、忘れられない経験になります。

ぜひ、私の故郷バンドンを訪れてみてください。きっと、現地の人々が大歓迎してくれると思います。



グレート・アジア・アフリカ



チウンブルイット・ピークエリア



水上マーケット

### 支援者の安藤裕子さんからメッセージ

サニさんは、インドネシアの観光局で仕事をし、結婚して 2022 年 4 月に来日。その年の 9 月から私との学習が始まりました。努力家で熱心に学習され、分からないところは必ず質問し、説明するときと理解してくれます。学習以外にも、一緒に町田時代祭り、薬師池公園の散歩、リス園での餌やり等して楽しんだりしています。この度のサニさんの記事を読んで、サニさんの故郷、バンドンへ行ってみたいという気持ちになりました。サニさんに益々日本が好きになっていただけるよう応援していきたいと思っています。



サニさん (左) と安藤さん (右)

## 一緒に活動する仲間 募集！

MIFAには5つ部があり、下記の活動を担っています。部の活動はクラスの枠を越えて会員同士の交流を深めたり、達成感や充実感を味わうことができたり、と楽しい面があります。役員や委員と一緒に活動してみませんか。ご協力いただける方は、役員や委員、コーディネータに気軽に声をお掛けください。お待ちしております。

語学部	語学部は日本語学習が円滑に行われるように学習者と支援者をサポートします。具体的には ①学習希望者への受付・説明・面談連絡、②各教室の運営、③学習者と支援者の組合せ、④学習用図書の本棚管理、⑤スピーチ大会、ブラッシュアップ講座等の開催、などを行います。皆さんのお近くにいるコーディネータや各委員がこれらを担当しています。
友好部	友好部では支援者と学習者の親睦・交流の輪を広げるイベントなどを年に3回ぐらい開催しています。楽しいイベントを企画して実施する仕事を一緒にやってみませんか？ 外国の方との違いや同じところを楽しく学びましょう。お手伝いして下さる方を募集しています。
会計部	会計部の主な仕事はコーディネータの協力のもと集める学習費と年会費の収入管理、そして支出管理です。出納帳の記入、支出伝票の整理等多くの事は自宅で自由な時間に行えます。年間の予定も立てやすいです。お気軽に参加してください。
広報部	広報部の主な仕事はMIFA ニュースの編集・発行とHPの更新です。具体的には、支援者や学習者に原稿を依頼したり、自ら原稿を書いたり、ワープロで入力や校正をしたり、などです。これらを役員、委員が分担して行い、皆で記事をチェックします。文章を書くことが好きな方、PC操作に慣れている方、なんとなく興味のある方、一緒に活動しませんか？
総務部	総務部はMIFAの事務局です。市民フォーラム及び社会福祉協議会ボランティアセンターに団体登録することによって、教室会場の利用を可能にしています。週7回の教室確保はとても重要で、その業務を担っています。また会員名簿の管理、総会の開催、HPへの問合せ対応、支援者養成講座、記念行事開催も担当しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております

### 作文を募集しています

学習者の皆さん、支援者の皆さん、あなたの作文をMIFA ニュースに載せてみませんか？ MIFA ニュースでは皆さんが書いた作文を募集しています。日本語で書くこと、長さは500字から1000字くらい。決まりはこれくらいです。何を書くかは、自由に考えてみてください。たとえば、日本の生活や文化、習慣、日本語について感じたこと、母国の文化や習慣、お祭りの紹介、日本語学習で工夫していることなど、いろいろ考えられます。MIFA ニュースに自分の作文を載せたいと思ったら、近くにいる広報部（MIFA ニュースを作っているグループ）の人にMIFA ニュースに作文を載せたいことを伝えるか、メールをください。メールの場合は、あなたのクラスと名前も書いてください。広報部から折り返し連絡します。

連絡先メールアドレス： [mifa\\_machida@ybb.ne.jp](mailto:mifa_machida@ybb.ne.jp)

## 状 況 表 2023.12.29 現在

## ◆学習者数

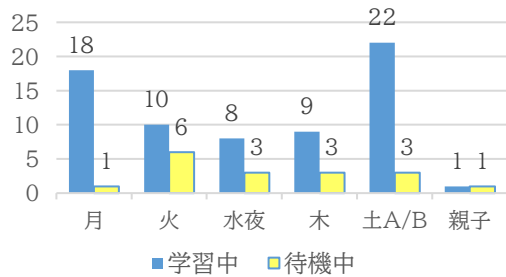
学習中	68
待機	17
合計	85

## ◆支援者

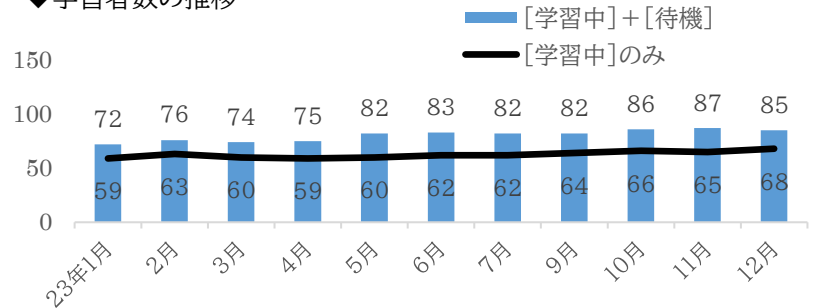
支援中	68
待機 or 休止	38
合計	106

学習中にはリモート学習中の 2 名を含む  
支援中にはリモート支援中の 2 名を含む

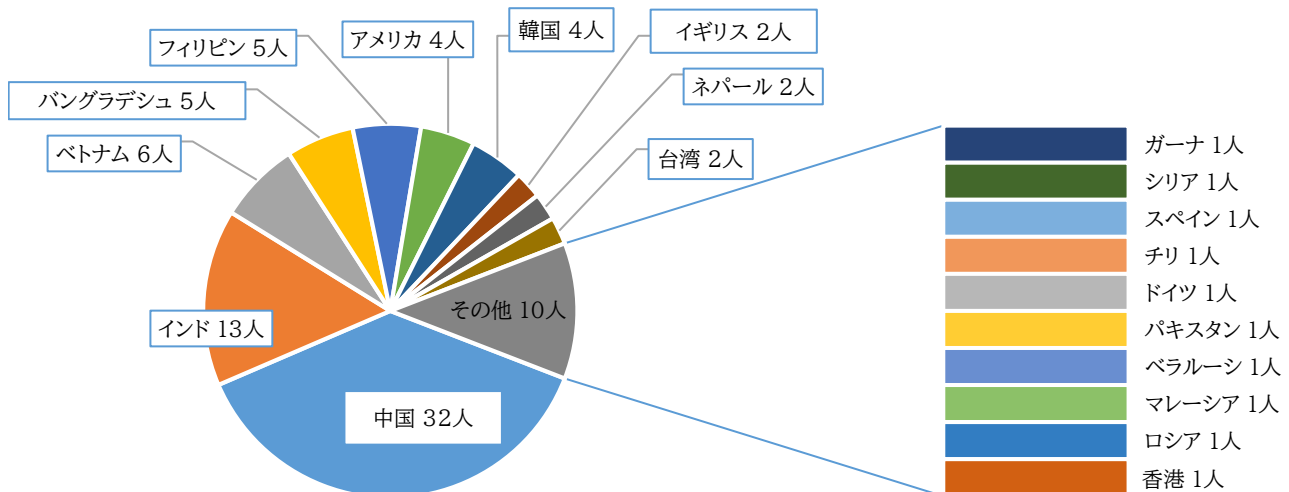
## ◆クラス別学習者数



## ◆学習者数の推移



## ◆学習者出身国



## 役員会便り

毎月の定例役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします

10月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習者動向に大きな変化はありませんが対面での支援が増加しました</li> <li>・ 5月に開催した「日本語スピーチ大会」を2024年度はコロナ以前のように11月に戻したいと考えています</li> <li>・ 「日本語学習支援ボランティア養成講座」がスタートし順調に進んでいます</li> <li>・ 10月28日の「創立30周年記念行事」に向けて準備を進めています。来賓、会員と役員OBの元会員などに案内状を郵送し、出欠の返信ハガキで当日の人数を把握し、会場設定や懇親会のメニューを決めました</li> <li>・ 受付～講演～写真撮影～懇親会への流れをスムーズにできるよう担当を決め、スケジュールを作成中です</li> <li>・ 記念品のクリアファイルは当日の出席者、会員、学習者、養成講座受講者に配布します</li> </ul>
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「創立30周年記念行事」は74名という多数の参加者で、講演、懇親会もやや時間に押された感がありましたが、好評のうち無事に終わりました。皆さん、ご協力ありがとうございました</li> <li>・ MIFAではコロナが5類に移行した後も教室内でマスクを着用、アルコール消毒、検温など従来通りの感染対策を継続することとしてきましたが、今後どうするかを「町田国際交流センター(MIC)」、「まちだ日本語の会」との3者会議で話し合います</li> <li>・ 今年度会計の中間決算が済み、監査も終了しました。会費、学習費、養成講座受講費の入金があり、11月中には新入会者からの会費も見込めます</li> <li>・ MIFAニュース次号は1月発行を予定していますが、その前に創立30周年記念誌を12月初旬に発行、クリアファイルと会長からの添え状とともに会員全員に郵送します</li> </ul>



<p>12月12日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年は 4 年ぶりに対面で行った総会、スピーチ大会、養成講座、創立 30 周年記念式典など行事が沢山あり本当に大変でしたが、皆さんの素晴らしい活躍で乗り切ることができました。ご協力ありがとうございました</li> <li>・ コロナ感染対策を緩和することにします。全クラスでマスク着用を任意とし、検温、アルコール消毒も月曜クラス以外は不要とします。月曜クラスは、マスク着用を任意としますが、MIC の教室を使用することから MIC の基準に合わせ検温、アルコール消毒を従来通り継続します</li> <li>・ 養成講座修了者のうち 14 名が入会し、早速支援を開始します</li> <li>・ 2024 年のスピーチ大会は 11 月 9 日(土)町田市文化交流センター「けやき」で行います</li> <li>・ 2024 年 1 月 28 日(日)MIC 主催の「日本語発表会」への MIFA 参加予定者は4名です</li> <li>・ 新学習者に配布している「ようこそ MIFA へ」の内容を変更しました。無断欠席、長期欠席への注意を改めて喚起するものです</li> <li>・ 2024 年 3 月 2 日(土)町田市文化交流センター「けやき」で「春の集い」を開催します。立食形式でケータリングを頼み、対象を家族、友人まで含めるか検討中です</li> <li>・ 教室予約の際、従来は MIFA 優先で取れた土曜の講習室が他団体と競合するようになり、しばしば予約できないことがあり、何かよい対策はないか模索中です</li> <li>・ 市内小山田小学校から外国人学習者による自国紹介スピーチの要請が MIC 経由でありました。MIFA の理念からも好ましいことですが、具体的な情報を確認してから対応を決めます</li> </ul>
<p>1月16日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震、飛行機事故で厳しい辛い年明けとなってしまいましたが、MIFA としては今年も堅実に活動を続けていきますので宜しくお願いします</li> <li>・ 教室予約についてボランティアセンターに問い合わせたところ、教室予約の優先順序付けは以前よりしていない、最近予約が取り難くなったのは同じ時間帯に競合する団体が増えてきたためとのことでした</li> <li>・ 3月2日の「春の集い」は、対象を会員、学習者とその家族、友人も含めることにし、参加費は従来と同じく無料、皆さんで楽しめる時間にしたいと思っています</li> <li>・ 学習者のお国自慢料理も提供してもらい、立食形式でケータリングも利用します</li> <li>・ チラシを教室で配布し、2月17日までにおおよその出席者数を把握します</li> <li>・ MIFA ニュース次号発行は4月頃で「春の集い」、「日本語発表会」を記事にする予定です</li> <li>・ 例年のことですが、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターへの団体登録をし、また上半期の教室抽選予約をします</li> <li>・ 2024 年度定時総会を 5 月 9 日(木)午後で開催することとし、そのための場所の確保、準備を進めます</li> <li>・ 小山田小学校で外国人学習者が子供たちに国際理解を深めることを目的としたスピーチをする件、2月16日(金)午後4時に4名が参加可能とのことですが、参加条件を了承してもらった上で関係者に連絡します</li> </ul>

## 2 月～4 月の予定

- 2月13日(火) 13:30～15:30 役員会 セリがや会館 大会議室
- 3月2日(土) 13:30～15:30 春の集い 町田市文化交流センター「けやき東」  
※MIFA 関係者のみ入場できます
- 3月12日(火) 13:30～15:30 役員会 セリがや会館 大会議室
- 4月9日(火) 13:30～15:30 役員会 セリがや会館 大会議室

**4月28日(日)～5月6日(月) ゴールデンウィークのMIFAお休み**

\*\*\*\*\*

掲載文及び写真の権利は MIFA に属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]

濱田敏裕 池田晴美 立石滋子

MIFA ニュース No.149 Jan/Feb/Mar2024

発行日: 2024 年 1 月 28 日

e-mail: mifa\_machida@ybb.ne.jp

ホームページ: <http://mifa-machida.info/>

